（学校名　藤岡市立東中学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

『Team 東中校区で思いやり、いじめをなくそう!』プロジェクト

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

東中学校では、いじめ撲滅宣言『東中は　いじめをしない　させない　許さない』の実現を目指し、『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくりに向け私たちができること』のテーマのもと、東中生のつながりを深めるための様々な取組を行った。今年度特に力を入れたのは、専門委員会の活動を活発にし、委員会ごとに人権を意識した活動である。また、東中学校だけでなく、東中校区の小学校(藤岡第一小・美九里東小・美九里西小)と連携したり、様々な募金活動を行ったり、地域とのつながりを意識した活動を行ったりした。これらの取り組みを通し、生徒が主体的に活動する力やお互いを思いやる心が育成され、その力を生かし、生徒自身が『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり』を行ってきた。

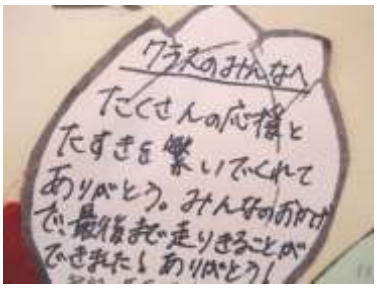
３　共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」

東中学校では、「地域でふれあうあいさつ運動」を行う際、「スマイルハイタッチあいさつ運動」を取り入れている。毎年恒例となったこのあいさつ運動週間は、小中学生と地域の方とがふれあう貴重な場である。中学生が小学生と同じ目線になり笑顔であいさつをする姿により、朝からあたたかい雰囲気に包まれる。中学生も通常のあいさつと比べ、明るく意欲的にあいさつしていこうという様子が見られ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意識の向上につながっている。また、生徒会本部役員による「ガッチュウレンジャー」の登場により、小学生が喜びながらハイタッチをしようとする姿も恒例となった。

【スマイルハイタッチあいさつ運動】

「ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動」には、各学年単位で取り組んだ。行事ごとにクラスの友達の良かったところを見つけ、認め合うことでクラスや学年の雰囲気が温かくなった。

昨年度東中学校では、「スマホ・ゲームの使い方の東中ルール」を決定した。今年度は、それらの話し合いをもとに、生徒会作成の「ガッチュウレンジャーによる啓発ポスター」を引き続き掲示したり、終業式で呼びかけたりする活動を継続した。このことによりスマホ・ゲームの正しい使い方への意識は高まっている。



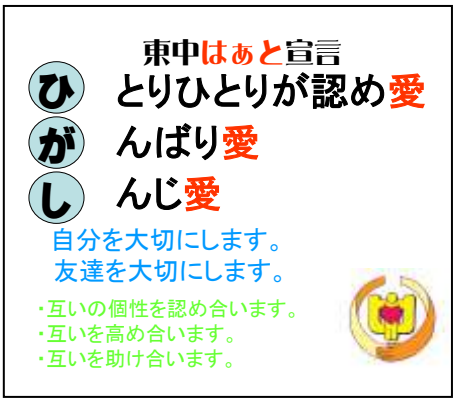
【スマホ・ゲームの使い方ポスター】　【ＨＡＰＰＹはぁとふるツリー運動】

４　私たちの取組

（１）人権集中学習旬間

今年度はテーマとして「慮る」を設定して人権集中学習旬間に取り組んだ。前期は、「思いやりの心」、後期は、「身近な人権」をサブテーマに、様々な取組を行い、『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり』を目指した。

後期の人権学習旬間において、初日に講師を招聘し、出前講座の「みんながゲートキーパープロジェクト」を開催した。生徒たちは一人一人に対して声かけの仕方を変える必要があるということを学んだ。「がんばれ」の応援で傷つくということにも気づかされ、一人一人を大切にする意識を高めることができた。



【東中はぁと宣言と人権シンボルマーク】

①『東中はぁと宣言』『人権シンボルマーク』

生徒会が中心となり、『東中はぁと宣言』や『人権シンボルマーク』を掲げ、自分や友達を大切にしていく呼びかけを行った。『東中はぁと宣言』は、東中学校の人権教育の柱となっている。

【ハッピービューティフルハート】

②　生徒会企画　『ハッピービューティフルハート』

これは今年度の生徒会本部の提案により、企画されたものである。これは、全校が決定した今年度の漢字が「越」であったので、学年の枠を「越えて」感謝の気持ちを伝えようという目的で実施された。東西の生徒用玄関に掲示されており、生徒一人一人がお互いに感謝の気持ちをハート型の用紙に記入し、貼っていく活動である。生徒会本部や各専門委員長を中心に、後期人権集中学習旬間に合わせて実施することができた。引き続き全校で取り組んでいく予定の活動である。

③　生徒会本部・保健委員会共同企画　『きずなリボン』

保健委員会では、毎年行われる世界エイズデーに向けた『レッドリボン』に、いじめ撲滅をテーマとした平和の象徴である黄色を用いた『イエローリボン』を重ね、東中独自の『きずなリボン』を作成した。この『きずなリボン』は、一人一人が認め合い、頑張り合い、信じ合い、自分や相手を大切にする証、そして、いじめをなくす証として、人権集中学習旬間において生徒や職員が名札につけて人権を意識して生活した。

【きずなリボン】

④　人権を意識した委員会独自の取組

後期人権集中学習旬間では、人権を意識した取組を各委員会が提案し行った。２学年委員会の取組では「友達のことをもっと知って、いいところを見つけよう。」をテーマに、朝の会の時間を使って、クラス全員が一人一人に褒め言葉をかけ合う活動を行った。生徒は自分が気づいていない自分の良さに気づくことができ、自信を深めるとともに、友達との信頼関係が深まった。他の委員会でも、生徒主体の様々な取組が行われ、互いを認め合う雰囲気が作られた。

（２）被災地支援・福祉施設支援

①笑顔あふれるアルミ缶回収運動

今年度は、地域の２ヶ所の福祉施設（音和の園・藤美荘）へ、各施設で必要なものを寄贈することを目標にアルミ缶回収を行った。福祉施設への支援は、長年継続している東中学校の伝統的な活動である。

特に２年生では、今年度もチャレンジウィークに協力していただいた事業所にアルミ缶回収の協力を依頼した。回収箱を事業所に設置していただき、アルミ缶を回収した。また、保護者や地域の方々からも協力を得ることができ、アルミ缶回収活動を通して地域の方々との繋がりを深めることができた。

②福祉施設訪問

JRC 委員を中心に、地域の２ヶ所の福祉施設（音和の園・藤美荘）を訪問し、利用者の方々と一緒に活動をした。活動の中で、施設に必要な物を聞いた上で、今年度のアルミ缶回収の収益で贈る物品を決定したことにより、生徒の回収への意識が高まり、積極的にアルミ缶回収活動へ参加することができた。

【福祉施設訪問】

③T シャツ購入による支援募金

藤樹祭では生徒がデザインしたチャリティーT シャツを販売し、収益の一部を被災地支援に充てた。多くの生徒からの協力を得ることができ、共生の心を育てることができた。

【チャリティーT シャツ】

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

本校では、本年度も生徒間のトラブルや人間関係の悩みに起因する不登校などが見られてはいるが、全体的に落ち着いて学校生活を送ることができている。生徒たちは様々な取組を通して『共生』の意識をもち、人と人との繋がりや互いを思いやる気持ちを高めることができた。また、小学生や高校生、地域の方々との関わりが、生徒の豊かな心を育んでいる。

今年度は、「さらなる高みを目指して考動し、団結できる東中へ」の生徒会スローガンのもと、専門委員会という学年を越えた縦割集団での活動を多く取り入れた。その結果、生徒の主体性が育つとともに、多様な考えに触れる機会や関わりが増え、相手のことを考えて行動する意識を高めることができた。今後も、専門委員会を中心とした主体的な活動を増やし、多くの関わり合いの中で生徒が成長できる環境を工夫していく。

（２）今後の課題

東中学校の共生の心の育成にむけた『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり』を行ってきたが、その根底を支えるのは『信頼できる人間関係』である。そのためには、様々な人との関わりが必要である。引き続き多様な考えを持つ人とコミュケーションを図れる場を増やしていく。そしてそのことにより共感的な人間関係を築いていきたい。「いじめを許さない」というねらいを常に意識させるのはもちろん、他者と協力することにより、自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしていこうという自治的な力を培い、東中生の『共生』意識、相手を思いやる気持ちを育んでいきたい。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立東中学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	アクション３＋の啓発（ポスター掲示、生徒会役員による発表）
5月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・SQSテストの実施	
6月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・前期人権学習旬間テーマ「慮る」での各委員会の取組 ・いじめに関する道徳の実施 ・ハッピーはあとふるツリー（球技大会）	地域でふれあうあいさつ運動（スマイルハイタッチ）
7月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業前の話の中で「ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」を活用	
8月	・三者面談の実施	
9月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・JRC委員会福祉施設訪問 ・チャレンジウィーク事業所にアルミ缶回収の協力依頼	
10月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・ハッピーはあとふるツリー（藤樹祭） ・中高合同あいさつ運動実施	
11月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・三者面談	
12月	・ゲートキーパーを講師に迎えての人権講座の実施 ・後期人権集中学習旬間テーマ「身近な人権」での各委員会の取組 ・きずなリボンの配布 ・ハッピービューティフルハートの作成、実施 ・人権ノートの実施	地域でふれあうあいさつ運動（スマイルハイタッチ）
1月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・中高合同あいさつ運動実施	
2月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・全校集会にて子ども会議の内容の伝達 ・JRC委員会福祉施設訪問	
3月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	

（学校名　藤岡市立北中学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

笑顔輝く北中学校。ひとりひとりの笑顔・個性の花を咲かせよう。
思いやり・優しさ溢れる学校へ

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

北中学校では、いじめ撲滅宣言並びに行動目標を受け、平成 19 年度に全校生徒の願いを生徒会本部が中心となってまとめた「北中　はぁとふる宣言」が採択されています。今年度も、「北中　はぁとふる宣言」を基本に、「笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり」に努めてきました。

一、私たちは、**仲間はずれ**を絶対作りません。
一、私たちは、**自分がされて嫌なこと**は絶対にしません。
一、私たちは、**相手の立場**に立って考えます。
一、私たちは、**人のよいところ**を見つける努力をします。
一、私たちは、誰に対しても明るく元気のよい**あいさつ**をします。
一、私たちは、特定の人だけでなくみんなと**会話**します。
一、私たちは、いじめにあったり、見たりしたら**相談**します。

［北中　はぁとふる宣言］

生徒一人一人が学校に居場所があることを感じながら毎日笑顔で登校し、その時々の目標達成に意欲的に取り組むことで、自らの進路の実現に向けて希望を持って生活ができる学校づくりに努めています。

３　共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「HAPPY はぁとふるツリー運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３+」

学校生活の基盤は学級です。私たちは、温かく、自分の居場所のある居心地のよい学級づくりを目指しています。今年度も、学級活動の時間や人権集中学習を通して、自分たちの使っている言葉や行動について見直したり、クラスとしての課題について話し合ったりしました。今年度は「クラスのはぁとふる宣言」を作り、自分たちのクラスに必要な活動を行いました。

（１）前期人権集中学習「スマイルハイタッチあいさつ運動」

「スマイルハイタッチあいさつ運動」では、生徒会から呼びかけを行いました。月に１週間あるマナーアップ運動を通して、各クラスや部活ごとにスマイルハイタッチを行いました。また、球技大会でハイタッチをすることでクラスの友達との仲を深め、よりよい人間関係を築いていこうと考えました。全員でハイタッチをしたところ、みんな笑顔がいっぱいになりました。

（２）後期人権集中学習「HAPPY はぁとふるツリー運動」

後期人権集中学習では、「心温まる魔法の言葉」をテーマに、ＪＲＣユネスコ委員会が「はぁとふるツリー運動」の準備と呼びかけを行いました。あたたかい言葉、特に「ありがとう」や「すごいね」を友達に書いて伝えることで、あたたかな雰囲気を作りました。普段言えない言葉も、書くことで伝えられ、感謝の言葉で溢れる、素晴らしいツリーとなりました。各クラスとも、１枚では収まりきらない多くの言葉が貼られていて、全員で作り上げた温かい言葉のツリーに、生徒は嬉しそうにしていました。今年度はＪＲＣユネスコ委員会が人権集会の企画・運営を行いました。

〔生徒会本部役員からの呼びかけ〕

〔ハイタッチの様子〕

［はぁとふるツリーの発表］

（３）ネットいじめ防止アクション３＋

「アクション３+」は携帯電話やスマートフォンによる SNS の利用についての注意喚起としてだけではなく、普段の学校生活から友達関係を良好にするために、伝える前に確認したり、大切なことは直接伝えたりするということを示しています。北中学校でも、生徒会を中心に学級や校内にポスター掲示したり、集会の際に告知したりしています。また、第二小、神流小の児童会の役員とアクション３＋の活用について話し合い、各学校で活動を行いました。

４　私たちの取組

生徒会本部では、「魅力ある北中」を目指して、以下の３つを柱として活動しています。

（１）「みそあじ」がしっかりできる学校
（２）行事に向かってみんなで頑張れる学校
（３）全校生徒が主体的に活動できる学校

いじめのない環境とは、充実した学校生活を送ることができる環境だと考えています。普段の生活をしっかりと送れることでいじめのない土壌を作ろうと､生徒会本部で全校生徒に呼びかけています。

（１）「みそあじ」がしっかりできる学校

毎日の生活の土台になるものが基本的生活習慣であると考え、その定着に努めています。単に自分自身のこととしてではなく、自分が集団を構成するメンバーの一人であることを意識し、お互いに気持ちよく生活するためのルール、マナーを身に付けることを目指しています。そして、毎日の生活をしっかりすることで、いじめのない環境を作ります。

み	身だしなみを整えよう
そ	掃除をしっかりしよう
あ	あいさつを元気よくしよう
じ	時間を守ろう

北中「みそあじ」運動

○「みそあじ」の定着を目指して：「みそあじ運動」の推進

「みそあじ」ができる学校にしよう。これは、今年度北中学校が最も力を入れて推し進めている運動です。「学校を良くしていくには、まず、あいさつ」、「あいさつは関係づくりの第一歩」と考え、あいさつ運動には、特に力を入れて取り組んできました。

また、「みそあじ」は、学校生活で守るべきこと、意識していきたいことのキャッチフレーズとして、校内に掲示してあります。この言葉の掲示により、北中生の改善点である服装や時間のルーズさ、自律性・規範意識の不十分な面の改善・向上を図ってきました。

［第二小学校でのあいさつ運動］

［神流小学校でのあいさつ運動］

［北中学校卒業生とのあいさつ運動］

（２）　行事に向かってみんなで頑張れる学校

北中学校には、クラスで一つの目標に向かい協力して取り組める学校行事が３つあります。６月の球技大会、１０月の体育祭、１１月の北斗祭です。これらの行事の前には、各クラスがそれぞれに練習を工夫し、クラスとしての団結力・絆を深めていきます。学校行事を通して、友達の良さやクラスのあたたかさを感じることにより、いじめが起きない環境を作ります。

〇球技大会

初めてのクラス対抗で行う行事です。ミスをしても相手を責めず、得点を決めたら全員で喜びました。チームの仲間で円陣を組んだりハイタッチをしたりしながら、クラスみんなで喜び、おおいにクラスの仲が深まりました。

〇体育祭

北中の伝統行事です。迫力ある入場行進から始まり、徒競走や学年種目など、全員で優勝を目指します。生徒、教職員、保護者が一丸となって取り組む体育祭は、まさに「北中全体美」を表しました。

Ｃ北斗祭

午前中は合唱コンクール、午後は文化部の発表、体育ダンスの発表など、普段見られない生徒の姿に多いに盛り上がりました。生徒会本部役員と実行委員が、オープニングからエンディングまで企画し、会場が一体となり感動の渦を巻き起こす生徒主体の行事となりました。

［団結の円陣］

［各クラスの入場行進］

［3年生による学年合唱］

（３）全校生徒が主体的に活動できる学校

生徒会本部が中心となり、専門委員会や部活動で普段の生活からしっかりと取り組むよう呼びかけを行っています。普段の生活が生徒主体であれば、生徒は意欲的に学校生活を送ることができます。よい環境でよい学校生活を送ることこそ、いじめ撲滅の一番の対策だと考えています。

生徒会本部では、意見箱を設置し、生徒から広く要望を聞き入れています。ここに書かれている意見について、生徒会本部や専門委員会、各学級で相談して実行してもらい、生徒の意見を確実に反映させています。また、生徒会本部が委員会活動の先頭に立ち、コラボレーションしながらより良い北中を作っています。

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

「みそあじ」というキャッチフレーズのもと、マナーアップ運動やあいさつ運動に日頃から取り組んできたことで、私たちの意識、そして姿勢や態度にも変容が見られました。あいさつを通してお互いを認め合う雰囲気が出てきて、より良い人間関係の土台作りができました。

生徒や教員が本気で学校行事に取り組み、生徒、教員、保護者が一体となって盛り上がることができました。どの学校行事においても、練習から生徒が自主的に一生懸命に取り組む雰囲気があり、クラスや学年を通して、よい人間関係を築くことができていました。

生徒会が各委員会の先頭に立ち、生徒会活動全体が活発になることで、生徒会本部役員に学校を背負っている自覚がつきました。各委員会とのコラボレーションも委員会の目標を達成するためにとても有効的で、主体的に取り組みが行われました。

（２）　今後の課題

学校生活の基盤である基本的生活習慣がしっかりとできる学校ならば､いじめは起きないと考えており、「みそあじ」運動に力を入れてきました。どれも全体的にはよくなっているのですが、主体的に取り組める生徒がまだまだ少ないと感じています｡生徒一人一人が問題意識をもって主体的に取り組めるように、「みそあじ」運動を生徒会主体で展開していくなどの工夫が必要であると考えます。

学校行事については、練習から良い雰囲気作りができているように思われます。しかし、運動が苦手であったり、歌が苦手であったりして、人間関係がうまく築けない生徒もいるので、教師からの呼びかけにプラスして、ピアサポートのように気付いた生徒が声をかけ、より良い関係を築いていけるような力をつけていきたいです。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立　北中学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動） ・アクション3+を通して、SNSの利用について生徒に啓発	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・年度初め総会にてネットいじめ防止行動目標アクション3＋を活用しての家庭への啓発 ・始業式にてSOSの出し方についての話 ・年度初めによる生徒や家庭への生活のきまりの確認
5月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動） ・Q-Uテストの実施（1回目）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
6月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスで決めた「はぁとふるスローガン」の発表（前期人権集中学習） ・いじめに関する道徳の実施 ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会
7月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業前の話の中で「ネットいじめ防止行動目標アクション3＋」を活用 ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・懇談会まとめリーフレットによる家庭・地域の啓発
8月	・三者面談の実施 ・始業式にてSOSの出し方についての話 ・必要に応じて、個人面談	・校区いじめサミット開催 ・始業式にてSOSの出し方についての話 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
9月	・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡北高校） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
10月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動） ・Q-Uテストの実施（2回目） ・必要に応じて、個人面談	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
12月	・HAPPYはぁとふるツリー・各委員会のはぁとふる活動（後期人権集中学習） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動） ・アクション3+を通して、SNSの利用について生徒に啓発	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
1月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・始業式にてSOSの出し方についての話
2月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・全校集会にて子ども会議の内容の伝達 ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
3月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・各クラスや部活動ごとに行われるマナーアップ週間（スマイルハイタッチあいさつ運動）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動

（学校名　藤岡市立小野中学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

前期３６期生徒会　スローガン「十人十色～一人ひとりが主役の物語を創り上げろ～」

後期３７期生徒会　スローガン「One team ～みんなのピースをつなげ１つのパズルを完成させよう～」

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

いじめは、相手への思いやりの欠如や自己有用感の低さに起因するといわれている。生徒会を核としてピア・サポート活動を推進し他者（相手）を意識したコミュニケーションスキルを学び、いじめのない笑顔あふれる学校生活を目指す。

今年度は昨年度同様に「笑顔あふれる学校づくり」を意識し活動を進めた。生徒会主体のあいさつ運動に委員会や各部活動からも参加をして、学校全体で笑顔を増やそうと努めた。また、各行事にクラスや縦割り団が団結して取り組むことによって絆を深め、生徒が主体的に望ましい人間関係づくりについて考えることで、いじめ問題の解決につなげられるような機会をつくった。

３　共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「HAPPY はぁとふるツリー運動」
「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」

「スマイルハイタッチあいさつ運動」

小野中学校では、平成２４年度より「モーニングハイタッチ活動」を続けてきた。それを２６年度から「スマイルハイタッチ運動」とし、生徒会本部を中心に引き継いだ。今年度は昨年度同様に週に２回のあいさつ運動に加え、生活委員会が毎週１回の活動、人権集中学習中には、各部活動にも参加してもらい全校であいさつをして笑顔が増え、より気持ちのよい朝のスタートを切ることができた。

８年目 チ運動

「HAPPY はぁとふるツリー運動」

人権集中学習の中で、友達のよいところや普段は恥ずかしくてなかなか言えない感謝の気持ちを書く「HAPPY はぁとふるツリー運動」を行った。花びらに友達のよいところを書いて木の枝に貼り広げていった。友達にしてもらって嬉しかったことや、かけてもらって嬉しかった言葉、クラスのために頑張ってくれている友達への感謝、いつもそばにいて悩みを聞いてくれる友達への感謝など、多くの花びらが貼られ、どのクラスも大きな花を咲かせることができた。クラスごとに作ったHAPPY はぁとふるツリーを集中学習後、１カ所にまとめて掲示していつでも振り返りができるスペースを作った。

HAPPY はぁとふるツリー運動

藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」

きずなタイム第３回「楽しいコミュニケーションを考えよう」第４回「ちょっとまって、それをしたらどうなる？」と題して、話合い活動を行った。SNS では顔を見て話すことがないので、文字やスタンプで誤解が生じることがあることや、友だちとの関わり方を改めて考え直す機会を設けた。メディアとの正しい付き合い方を生徒が自分たちで考え、自分のことだけでなく、相手のことを思いやることも全体で共有した。

話し合って、解決する

4　私たちの取組

（1）全校縦割り活動「きずなタイム（ピア・サポート活動）」

○きずなタイムのねらい

①自分たちの問題を、自分たちの力で解決する。（自主自立の精神の育成）

②生徒同士が互いに認め合い、励まし合い、高め合える関係をつくる。（共感的人間関係の育成）

○きずなタイムのもち方

全校生徒を学級ごとの３団に編成し、３年生を班長とする６～９人の縦割り班をつくり、生徒同士が話合い活動を通して支援・援助できる場を設けた。また、体育館で一堂に会しての活動を通して、最終的には全校生徒の意志決定、意思統一を図る場とした。

４月「縦割り団の結成と縦割りグループのリレーションづくり」（じゃんけん王に俺はなる！）

５月「陸上記録会に向けて団別応援練習をしよう」

６月「楽しいコミュニケーションを考えよう」

10 月「クラスの合唱を聴き合い高め合おう」

（２）人権集中学習

後期人権集中学習では、各委員会ができることを考えて取り組んだ。

①生徒会本部　HAPPY はぁとふるツリー運動
　　被災地への募金活動
②生活委員会　スマイルハイタッチ運動「部活動」
③保健委員会　中学生の体について　エイズについて
④JRC ユネスコ委員会　福祉施設に車椅子
⑤園芸委員会　人権の花
⑥図書委員会　人権に関する本の紹介
⑦放送委員会　人権ソングの放送

生徒会 被災地への募金活動

JRC ユネスコ委員会

保健委員会　（体幹トレーニング）

部活動ごとのスマイルハイタッチ運動

５　取組のまとめ

（１）取組の成果

○「スマイルハイタッチ運動」では、生徒会本部役員と生活委員会が中心に毎週行い、前期・後期の人権週間中には部活動ごとに行うことでより活発に取り組むことができた。

○後期人権週間では、各委員会で取組を話し合って決め、実施していくことで、学校全体での取組、生徒主体での取組ができた。

○「HAPPY はぁとふるツリー運動」に全校で取り組むことで、友達のよいところを認めて感謝の気持ちを伝える温かい気持ちを育むことができ、クラス全体で温かい気持ちを育むことができた。

○「きずなタイム」では、小グループで学年関係なく意見交換が活発に行われ、行事に向けての活動も生徒が主体となって取り組めた。

（２）今後の課題

●「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」を周知徹底させていきたい。人権集中学習の振り返りにその視点を取り入れ、生徒が意識して生活できるようにしていく。

●いじめが起きないように、トラブルを未然に防ぐという「いじめ防止」の考えが生徒の中に意識付けできたものの、いじめを絶対に許さない、いじめは起こしてはいけないという「いじめ撲滅」の強い意志を育むことができていない。生徒一人ひとりがいじめ問題を解決しようとする主体性をもつことができるように取組を継続していきたい。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立小野中学校

月	学校の取組	一貫校の取組
4月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班でのピアサポート活動（人間関係づくり）	・小野連携型一貫校「学校いじめ防止基本方針」を作成し、 HPに掲載し家庭への周知 ・生徒総会およびPTA年度始め総会にて、ネットいじめ防止行動目標アクション3＋について生徒および家庭への周知
5月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班でのピアサポート活動（1年生の中学校生活サポート）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・小中合同生徒指導・教育相談部会開催
6月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・前期人権週間 ・縦割り班でのピアサポート活動（メディアとの関係SNSについて）	・いじめ問題解決に向けた教育懇談会開催
7月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業前の話の中で「SNSとの関わり方の注意」 ・縦割り班でのピアサポート活動（睡眠と健康）	・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・小中合同生徒指導・教育相談部会開催 ・学校評価アンケート実施（子ども・教員・家庭・地域）
8月	・三者面談の実施	・小中リーダー研修会実施
9月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡北高校） ・縦割り班でのピアサポート活動（陸上記録会に向けて）	・学期始めにSOSの出し方についての話 ・学校運営協議会にて、第1回学校評価アンケートの分析 ・第1回学校評価アンケート結果の家庭への周知 ・小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
10月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・縦割り班でのピアサポート活動（談夢祭に向けて）	・小中高でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・小中合同生徒指導・教育相談部会開催
11月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・三者面談	・学校運営協議会にて、生徒指導の現状と課題について熟議
12月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・後期人権週間 ・HAPPYはぁとふるツリー ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業前の話の中で「SNSとの関わり方の注意」	・小野地区民生児童委員会情報交換会にて、生徒指導の現状と課題について説明 ・第2回学校評価アンケート実施（子ども・教員・家庭・地域）
1月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小中高でのスマイルハイタッチあいさつ運動
2月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議参加 ・全校への子ども会議の内容の伝達 ・縦割り班でのピアサポート（先輩から後輩へ引き継ごう）	・学校運営協議会にて、第2回学校評価アンケート結果の分析 ・第2回学校評価アンケート結果の家庭への周知 ・小中合同生徒指導・教育相談部会開催
3月	・生徒会、生活委員会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	

いじめ問題解決に向けた各校の取組の報告

（学校名　藤岡市立西中学校）

１　いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

せいか
西火

２　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

今年度のテーマである「『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくりに向け私たちができること』 ～一人一人の違いに気づき、考え、行動する～」を受けて、西中学校では、「西火」を生徒会目標に定めて活動しています。「西火」とは西中で勢いよく燃え上がる火を表しており、西中生が活躍することでさらに大きな火になっていきます。一人ひとりが西火ランナーであることを自覚し、自他を尊重しながら主体的に行動することで、いじめのない充実した学校生活を送れるような取組を続けています。

３　共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「HAPPY はぁとふるツリー運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション３＋」

西中学校では「スマイルハイタッチあいさつ運動」を６年前から取り入れ実施しています。生徒会本部役員をはじめ、各クラスのリーダーである学年委員会と各部活動とが連携して、毎朝生徒玄関前で挨拶運動を行っています。朝から多くの人とハイタッチをしながら挨拶を交わすことで、元気に一日をスタートすることができています。

さらに、西中学校では「スマイルハイタッチあいさつ運動」を活性化させ、中体連の壮行会で選手をハイタッチで送り出したり、合唱コンクールで担任とハイタッチをしてからステージに登ったりするなどの活動をしています。

また「HAPPY はぁとふるツリー運動」については、前期人権月間の中で、友達の頑張っている姿や、優しくされたことを紙に書いて模造紙に貼り、大きな「いいところ見つけの木」を作りました。今回は模造紙を廊下に掲示し、他のクラスの友達についても書いて貼れるようにすることで、学級の枠を越えて互いのよさを見つけ、認め合う活動になりました。

【スマイルハイタッチあいさつ運動】

【HAPPY はぁとふるツリー運動】

４　私たちの取組

(1)　５つのいっぱい運動

本年もこれまでの西中学校の伝統を引き継ぎ、「５つのいっぱい運動」の取組に力を入れてきました。

①　「挨拶」いっぱい

元気な挨拶は西中学校の自慢であり、特に意識している活動です。挨拶は人間関係を築く上で欠かせないコミュニケーションであり、生徒が主体的に取り組むことで、人間関係を形成する力や社会性の育成を目指しています。

②　「笑顔」いっぱい

一つ一つの活動を精一杯やり遂げていく中で生まれる「笑顔」によって心のつながりを作り、「いじめのないクラス」「いじめのない学校」を目指しています。

③　「歌声」いっぱい

全校生徒で歌う「校歌」や「愛唱歌」はとても迫力があり、西中学校の一体感を感じることで集団への所属意識が高まっています。４月には上級生が１年生に校歌の歌い方を教えるなど、熱心に歌に取り組んでいます。特に、西翔祭に向けて各クラスが練習を重ねて作り上げる合唱は素晴らしく、クラスの結びつきをさらに強め、共感的な人間関係の育成につながっています。

④　「作品」いっぱい

校内には美術や技術家庭科の授業、部活動で作った作品などが飾られています。作品を見た感想を入れる箱も設置され、お互いを認め合う活動となっています。

⑤　「花」いっぱい

校舎前には園芸委員会を中心にたくさんの花が植えられています。水やりなど当番の仕事に責任を持って取り組むことで、花いっぱいの学校を目指しています。

【上級生による合唱指導】

【卒業式のフラワーロード】

(2)　小学校との連携

校区の美土里小・平井小・日野小の３つの小学校と４校合同で様々な交流をしています。具体的な活動としては、３つの小学校の児童会と西中学校生徒会本部で「小中サミット」を毎年夏休みに開催しています。今年度は「いじめられている友達に何ができるか」というテーマで話し合いを行い、４校で共通して取り組んでいくことを２つ決めました。１つ目は「意見箱」を活用し、様々な声が届くようにすること、２つ目は帰りの会などで「いいところ見つけ」をより一層充実させることです。４校で共通実践を進めています。

(3)　ピアサポート活動

コミュニケーション不足が原因で人間関係のトラブルが起きていることから、生徒同士でコミュニケーションの取り方を学ぶことにより共感的な人間関係を作り、トラブルを回避し安心して学校生活を送れるよう、人権集中学習月間で１分間トークに取り組みました。よりよい聴き手になるために聴き手側から質問を行い、互いの考えを伝え合いました。

(4)　台風１９号の災害義援金の呼びかけ

校区である日野地区が台風１９号の被害に遭ったことから、災害義援金の呼びかけを行いました、約３週間で多くの義援金が集まり、生徒会本部役員が社会福祉協議会に持って行きました。

【１分間トーク】

【災害義援金】

５　取組のまとめ

(1) 取組の成果

① 生徒や教員が本気になって学校行事に臨み、保護者の方々の協力もあって、学校と地域が一体となって盛り上がることができました。仲間と協力し、何事にも熱心に取り組む雰囲気ができており、学級や学年の中で望ましい人間関係が築けています。

② 人権集中学習月間を通して、話を聴く人が「相手の話しやすい」環境を作ることが大切だということを知り、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について考えることができました。

(2) 今後の課題

「時間を守る」「あいさつをしっかりとする」など、基本的な生活習慣を確立し、それを継続していくことの延長線に、いじめのない充実した学校生活があると思います。よりよい学校生活を目指し、生徒会本部を中心として、様々な委員会から発信していきたいと思います。スマイルハイタッチあいさつ運動などの活動にも意欲的に取り組めていますが、活動内容がマンネリ化している部分もあるので、校区の小学校と連携しながら新たなことに挑戦していきたいです。

また西中サミットでの話し合いで決まった、「いいところ見つけの充実」や「意見箱の活用」を、積極的に呼びかけていくことができていないことが課題と考えています。より一層生徒が活躍する場を作り、一人ひとりを大切にしていくことで、さらに「笑顔、やる気、希望いっぱいの学校」作りを目指します。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立西中学校

月	学校の取組	一貫校の取組
４月	・生活委員、部活動による毎朝のスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査）	・年度初めによる生徒や家庭への生活のきまりの確認
５月	・生活委員、部活動による毎朝のスマイルハイタッチあいさつ運動 ・Q―Uテストの実施（1回目）	・小学校訪問あいさつ運動
６月	・生活委員、部活動による毎朝のスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査） ・人権集中月間でのありがとうの樹作成 ・球技大会実施	・小学校訪問あいさつ運動
７月	・生活委員、部活動による毎朝のスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査） ・中体連壮行会実施 ・ＳＮＳ講習会	・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
８月	・三者面談実施	・西中校区小中サミット
９月	・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡中央高校） ・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査）	・中高合同あいさつ運動
１０月	・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査） ・文化祭実施	・小学校訪問あいさつ運動
１１月	・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・Q―Uテストの実施（2回目） ・三者面談の実施	・小学校訪問あいさつ運動
１２月	・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査） ・人権集中月間での１分間トークの実施、ピアサポート体験 ・竹沼マラソン大会実施	・小学校訪問あいさつ運動 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
１月	・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査）	・中高合同あいさつ運動
２月	・生活委員、部活動、三学年による毎朝のスマイルハイタッチ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査） ・いじめ問題解決にむけた子ども会議実施	・小学校訪問あいさつ運動
３月	・生活委員、部活動による毎朝のスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごとの実態調査）	・小学校訪問あいさつ運動

＊毎週火曜日に教育相談部会、木曜日に生徒指導部会を実施。

藤岡市立鬼石中学校

1　いじめ問題解決に向けた取組名

「かかわり～お互いの違いを認め、他者との関わり方を考えよう～」

2　「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

鬼石中学校では、生徒会活動の様々な取組を通して、笑顔あふれる学校づくりを目指し、引き続き、取組名を「かかわり」としました。

４つのいじめ撲滅宣言の行動目標、

①私たちは相手の目を見て心のこもったあいさつをします。

②私たちは児童生徒会活動や学校行事を通して潤いがあり、温かい学級・学校を自らつくります。

③私たちは学年、学校をこえて交流をさかんにし、思いやりの心を育てます。

④私たちは友達のよいところを進んで認め、ほめます。

において、鬼石中における具体的な活動目標を次のようにしました。

①あいさつ運動に力を入れ、全校生徒があいさつを交わす明るい笑顔あふれる学校づくりを目指す。

②桜華祭や合唱コンクール、陸上記録会などの学校行事で団結力を高めたり、仲間との絆を深めたりできるよう意識して取り組む。

③団別活動や全校で走る機会を設け、悩みを分かち合い、ともに向上しようとする意識を高める。

④いいところ探しを行ったり Happy はぁとふるツリーを掲示したりして、全校で仲間のよさを認め合う活動を行う。

3　共通の取組

（1）スマイルハイタッチあいさつ運動

鬼石中学校では定期テスト前などの生徒の登校時刻がそろっているときに、生徒会本部役員と生活安全委員、あいさつ隊が中心となってスマイルハイタッチあいさつ運動を行いました。生徒たちは積極的にあいさつ運動に参加し、大きな声でハイタッチ運動を行うことができました。

また、今年度も小・中の連携を深めていくために、毎月１回の小・中合同あいさつ運動を継続してきました。このあいさつ運動は、鬼石中学校の生徒会とあいさつ隊が中心となり、自分が卒業した小学校に行き母校の小学生にあいさつをするというものです。その際に訪問先の学校でもスマイルハイタッチ運動に取り組み、笑顔でさわやかなあいさつを交わすことができました。また、学期に一度、小学生が中学校に来てあいさつ運動をする機会も設けました。あいさつ運動の回数を重ねるにつれて交流が深まってきたように感じます。

（2）Happy はぁとふるツリー運動

団、学年ごとに木をデザインした模造紙を作成し、Happy はぁとふるツリー運動を行いました。前期人権集中学習期間では団別に団のメンバーのよいところや頑張っていたところなどを中心に玄関に掲示し、全校での取り組みを行いました。後期人権集中学習期間では、学年ごとに取り組みを行いました。昨年度までの課

題を受け、今年度からは期間を限定し、どの生徒も主体的に取り組めるよう、行事ごと、学年ごとに Happy はぁとふるツリー運動を行うことにしました。

4　私たちの取組

（１）桜華祭合唱コンクール

毎年行われる文化祭の中でも、特に力を入るのが合唱コンクールです。クラス対抗で金賞を目指す行事なので、どのクラスも朝・昼・夕と一生懸命練習を重ねています。練習の中ではいろいろな葛藤や困難がありますが、それを乗り越えて本番を迎えることで大きな団結力が生まれます。パートリーダーを中心に皆でつくり上げた合唱は一生の思い出になり、仲間と心を一つにして取り組むことの素晴らしさを実感することができます。コンクールでは小中合同の合唱もあり、交流を深めることができました。『歌う鬼中』の真の力を披露する時です。

（２）陸上記録会

鬼石中の陸上記録会は昨年度から全校を三つの団に分け、それぞれ団対抗で点数を競い合い、それぞれの団が総合優勝をねらいます。特に団体種目であるロングロープジャンプ・全員リレー・綱引きは、練習での様々な困難や葛藤を乗り越えて団が一つにまとまらないと、なかなかよい結果が出ません。昼休みなどに、３年生を中心として一生懸命練習に励む姿があちらこちらで見られます。
また、意見が食い違ったりまとまらなかったりという苦難を、みんなで乗り越えたり、頑張っている団の選手を心を一つにして応援したりすることで、より大きな絆を育んでいきます。

（３）グループ別合同ラン

２年生には冬に「立志マラソン」という行事があります。今年度は台風の影響でコースが変更になり、桜山往復約１５キロのコースを走るというものでした。目的はタイムではありません。ペースが似た人でグループを作り、グループの仲間と励まし合いながら完走することです。同じグループの中にもペースの差がありますが、遅れがちな人を励ましたり、ペースを合わせたりすることで、互いを大切に思う気持ちが絆を強いものにしてきました。その立志マラソンを応援し、学校全体の団結や絆を深めるために、放課後の部活動練習の時間に、文化部を含めすべての部員が合同で走り込みをします。苦しい走り込みを互いに励まし、声を掛け合いながら繰り返し乗り越えていくことで、共に高め合おうとする気持ちや団結しようとする気持ちを高めることができます。

（４）人権集中学習

鬼石中学校では、年２回、６月と１２月に人権集中学習期間を設けています。今年度もテーマは「互いの違いを認め、他者との関わり方を考えることで、人権意識の向上を図る」でした。スローガンを『関わリング・つながリズム』とし、６月は「関わり方を考える」、１２月は「他者とのつながりを考える」ということをねらいとし、全校道徳や人権集会を行いました。１２月の全校道徳では、ＳＮＳの使い方について考えました。

5　取組のまとめ

（１）取組の成果

○スマイルハイタッチあいさつ運動では、ハイタッチすることで、笑顔が生まれ、学年や校種に関わらず、親しみを感じることができました。またそのことにより、一日のスタートを明るく気持ちよく迎えることができました。

○桜華祭や陸上記録会などの行事に向けて、仲間を大切にすることや絆を強くすることを意識して活動し、一人一人の心を繋ぎ、新たな絆を生み出すことができたと感じられました。これらの行事を通して、自分や仲間の大切さ、素晴らしさも実感することができました。

○Ｈａｐｐｙはぁとふるツリー運動を、前期、後期で団・学年ごとに分けたことで、行事の中で感じた仲間のよさや仲間への感謝をカードに記入することができました。カードに記入し、気持ちを伝え合うことで、仲間とのつながりをより強くすることができたと思います。また、気持ちを表現することのよさも感じることができました。

○グループ別合同ランでは、１５キロの立志マラソン試走の時、遅れがちな子を励ますだけでなく、一度休憩地点までたどり着いた生徒が遅れている子を迎えに行き、休憩地点まで一緒に走ることができました。助け合うことの大切さや、仲間への感謝の気持ちをもつということを学ぶことができました。

（２）今後の課題

○生徒会主体のいじめ防止活動を企画し、生徒主体の取組をさらに積極的に行うこと。

○生徒会主体のいじめ防止活動をより充実させるために、年間計画を練り直すなどし、より意図的・計画的な実践をできるようにしていくこと。

○小・中連携のいじめ防止活動を計画し、いじめ防止に向けた児童生徒のリーダーを育成する面に力を入れること。

○クラスの中で自己存在感や自己有用間を感じることができるように、朝の会や帰りの会、授業内でお互いのよさや頑張りなどを認め合う活動を取り入れたりするなど、常時活動の充実を図ること。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立　　鬼石　　学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動（毎月） ・年度初め総会にてネットいじめ防止行動目標アクション3＋を活用しての家庭への啓発 ・年度初めによる生徒や家庭での生活の決まりの確認 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
5月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
6月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめに関する道徳の実施 ・全校道徳でのアサーショントレーニング（前期人権集中学習期間） ・HAPPYはぁとふるツリー運動（前期人権集中学習） ・団別陸上記録会実施 ・ハイパーQUテストの実施	・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
7月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・懇談会まとめリーフレットによる家庭・地域の啓発 ・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月） ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
8月	・三者面談の実施 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査夏季期間）	・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
9月	・生徒会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加（藤岡中央高等学校） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
10月	・生徒会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・桜華祭実施	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
11月	・生徒会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・三者面談	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
12月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・HAPPYはぁとふるツリー（後期人権週間） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・ハイパーQUテストの実施	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
1月	・生徒会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
2月	・生徒会を中心としたスマイル・ハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・全校集会にて子ども会議の内容の伝達	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月）
3月	・生徒会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動 ・生活アンケートを基にした、SOSの確認（毎月） ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底